

ThreeBond



2025 ALL JAPAN

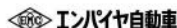
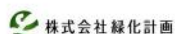
SUPER FORMULA CHAMPIONSHIP

RACE REPORT



Round.6-7

FUJI SPEEDWAY



飛躍なるか、真夏の富士決戦

2025年全日本スーパーフォーミュラ選手権第6戦・第7戦が7月18日(金)～20日(日)にかけて、静岡県富士スピードウェイで開催された。

今回は金曜日にフリープラクティス、土曜日に第6戦公式予選及び決勝、日曜日に第7戦公式予選及び決勝と、週末で2レースが開催される形式である。

6月初旬に富士スピードウェイにて開催された今季2回目の公式テストを挟み、ThreeBond Racingは三宅淳詞選手、塚越広大監督、一瀬俊浩トラックエンジニアとレースウィークを迎えた。三宅選手は公式テストのセッション4で22台中6番手のタイムを記録し好感触を得ていたが、ストレートスピードの不足やブレーキングが安定せず、セクター3が遅いという課題を解消するため、チームは敢えて今まで踏み込まなかった手法を盛り込んだ新しいコンセプトの車両を今大会へ持ち込んだ。

金曜日フリープラクティス

梅雨が明けた富士スピードウェイは晴天に恵まれ、気温・路温共に急上昇した。18日(金)に1時間ずつ計2回行われたフリープラクティス(FP)を走り始めた三宅選手は、序盤は好タイムを記録したがその後ペースが上がらず、出走22台中、FP1回目を11番手、FP2回目を16番手で終えた。



Round.6 公式予選

19日(土)も富士スピードウェイは快晴となり、公式予選が始まる段階で気温28℃、路温は38℃に達した。午前9時25分から始まった公式予選 Q1B 組に出走した三宅選手は、Q1B 組トップから0秒823遅れの1分23秒498を記録したが、出走した11台中9番手に終わり、Q1突破まで0秒181の僅差で Q2への進出は叶わず、スターティンググリッドは出走22台中18番手と決まった。

Pos	No	氏名/予選タイム
1	16	野尻 智紀 / 1' 22.417
2	1	坪井 翔 / 1' 22.438
3	8	福住 仁嶺 / 1' 22.773
18	12	三宅 淳詞 / 1' 23.498

Round.6 決勝

午後3時15分、シリーズ第6戦の決勝レースがスタートした。三宅選手はクラッチミートで一瞬加速が鈍り、その後リアタイヤを空転させてしまい、一旦ポジションは最下位まで後退したが、コカ・コーラコーナーで10号車のジュジュ選手を追い抜き、21番手でオープニングラップを終えた。

2周目に入るストレートでは前を走る29号車の野中誠太選手のスリップストリームに入って外側から前に出たが、1コーナーのブレーキングで勢い余ってラインが大きく膨らみ、抜き返されてしまった。

ポジションは落としたものの三宅選手のペースは良く、6周目に前を走っていた19号車のオリバー・ラスムッセン選手に迫ると、オーバーテイクシステム(OTS)を作動させ、第1コーナーで内側に飛び込んで順位を入れ替え、9周目に入るストレートでもOTSを使って野中選手をかわし、19番手に順位を上げた。

10周目からタイヤ交換が可能となり、複数の車がピットインしたことで、一時的に三宅選手のポジションは繰り上がり、12周目には13番手となった。三宅選手は16周を終えたタイミングでピットインし、タイヤ交換を行った。ところが右フロントタイヤがしっかりと固定されておらず、それを見た三宅選手は冷静に手を上げて指摘。チームは改めてタイヤを固定し直した。

このロスタイムにより三宅選手は最下位まで順位を落としてしまい、最終的には21位でチェッカーフラッグを受けることになった。



Round.7 公式予選

20日(日)は上空に薄い雲がかかる天候となったが、気温は30℃、路温は46℃と前日よりも高くなった。チームは第6戦の状況を分析した上でセッティングを大きく変更する決断を下し、三宅選手を公式予選 Q1A 組に送り出した。

タイムアタックを行った三宅選手は1分24秒029を記録し、その時点で7番手につけたが、三宅選手のタイムを上回る選手が現れたため、Q1A組のトップから0秒756遅れ、Q1突破までは0秒379差の9番手で Q2進出は叶わず、決勝レースは18番手からのスタートと決まった。

Round.7 決勝

午後2時20分から決勝レースのスタート進行が始まる予定となっていたが、タイム計測のシステムにトラブルが生じ、レースのスケジュールは大きく遅れ、午後3時15分からフォーメーションラップ開始となった。スターティンググリッドでは18番手だった三宅選手だが加速が鈍く、1コーナーまでに後続3台の先行を許した。しかし、オープニングラップで2台を抜き返し、19番手で2周目に入った。

その後も三宅選手のペースは良く、前車に迫ったが、接近すると後方乱気流の影響を受けてなかなかオーバーテイクできない展開となった。日曜日のこのレースではタイヤ交換をするためのピットインが1周目から許されており、各チームの戦略は早めにタイヤ交換を行うか遅らせるかで分かれたが、チームはタイヤの交換を遅らせる戦略を選んだ。すると18周目にコース上で停止車両が発生したためセーフティーカー(SC)が介入し、タイヤ交換を遅らせていた車両は一斉にピットに入った。三宅選手もタイヤ交換を行い、17番手でコースに復帰した。

追い上げが期待されたが、27周目にギヤチェンジができないトラブルが発生。三宅選手はスローダウンしてピットへと戻った。チームは車をガレージへ入れてチェックし、原因と思われる部品の交換作業を行い、再度三宅選手をコースへ送り出した。

このロスタイムにより周回遅れとなった三宅選手は、残り周回でマシンの状況を確認するため、単独走行になるようタイミングを計ってコースに復帰。最終的に8周遅れでチェッカーフラッグを受けレースを終えた。33周目に三宅選手が記録した1分24秒690は、第7戦決勝レース中、2番手のラップタイムだった。

Pos	No	氏名/予選タイム
1	1	坪井 翔 / 1' 22.940
2	6	太田 格之進 / 1' 23.021
3	64	佐藤 蓮 / 1' 23.095
18	12	三宅 淳詞 / 1' 24.029



ドライバー:三宅淳詞 コメント

6月の公式テストでは上位のタイムで走れましたが、正直な所ランキングを争うようなポジションにはいなかったもので、今回は少しセッティングのコンセプトを変えて持ち込んだのですが、それが外れていたような感触です。第7戦ではセッティングの方向性を再度変えましたが、スタート位置が悪く周囲の車に囲まれてしまい、乱気流の影響を受けて前に出られませんでした。その後、トラブルでピットインし、コースへ復帰する際には周囲に車がないタイミングを選びました。レースを諦めた訳ではありませんが、次のレースに向けた走行データも取りたかったからです。

前後に車がないクリアな状態で走行すると、ファステストに近いタイムが出ました。この調子で次のレースも走れるよう、今回のデータを分析して備えます。



監督:塚越広大 コメント

事前に行われた富士公式テストの手応えは悪くありませんでしたが、今回のレースウィークでは路面コンディションが刻々と変わっていく中でパフォーマンスが伸び悩んでしまいました。第7戦については、ドライバー・エンジニアと相談して、また違う方向性のセットで走行しました。結果的にはドライバーのコメントも良くなりましたし、コース上でもパフォーマンスを発揮できたと感じています。レースを走りきれなかったのは残念ですが、第7戦ではレース中のファステストラップに近いタイムも記録できました。今シーズンは10月に再度富士スピードウェイでのレースがあるため、ポジティブに受け止めています。良いパフォーマンスを出せる手応えが得られたので、次のスポーツランド SUGO ではしっかりと結果に繋がりたいと思います。



トラックエンジニア:一瀬俊浩 コメント

今までとは異なる方向性のセッティングで車を持ち込みましたが、第6戦は思うようなパフォーマンスが出なかったもので、第7戦の決勝は違う系統のセッティングにした所、車の状態はかなり良くなってパフォーマンスを発揮することができました。ベストラップだけで言えばファステストに近いタイムで走れており、レース結果には繋がらなかったものの、色々収穫があったレースでした。

12号車は昨年までの経験がなかなか通用せず、部品の個体差や様々な条件が今まで担当していた車と異なっているのだと思いますが、結果が出せずに苦労しています。今回は自身の経験を基に、少し補正を入れてみたら良い感触が得られましたが、補正がまだ足りない部分があったようにも感じるので、その点を次のスポーツランドSUGO大会に持ち込めば、良い順位に飛躍できるだろうと考えています。





Round.6 レース結果

Pos	No	Driver	Team	Time
1	1	坪井 翔	VANTELIN TEAM TOM'S	51' 49.941
2	16	野尻 智紀	TEAM MUGEN	51' 56.704
3	15	岩佐 歩夢	TEAM MUGEN	51' 57.239
4	8	福住 仁嶺	Kids com Team KCMG	52' 03.649
5	5	牧野 任祐	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	52' 05.545
6	14	大嶋 和也	docomo business ROOKIE	52' 08.798
7	38	阪口 晴南	SANKI VERTEX PARTNERS CERUMO・INGING	52' 10.550
8	39	大湯 都史樹	SANKI VERTEX PARTNERS CERUMO・INGING	52' 11.337
9	65	イゴール・オオムラ・フラガ	PONOS NAKAJIMA RACING	52' 12.980
10	6	太田 格之進	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	52' 13.903
11	64	佐藤 蓮	PONOS NAKAJIMA RACING	52' 14.756
12	3	山下 健太	KONDO RACING	52' 23.571
13	37	サッシャ・フェネストラズ	VANTELIN TEAM TOM'S	52' 25.015
14	4	ザック・オサリバン	KONDO RACING	52' 28.905
15	50	小出 峻	San-Ei Gen with B-Max	52' 32.865
16	19	オリバー・ラスムッセン	ITOCHU ENEX WECARS TEAM IMPUL	52' 35.392
17	20	高星 明誠	ITOCHU ENEX WECARS TEAM IMPUL	52' 38.004
18	28	小高 一斗	KDDI TGMGP TGR-DC	52' 41.032
19	29	野中 誠太	KDDI TGMGP TGR-DC	52' 48.197
20	10	ジュジュ	HAZAMA ANDO Triple Tree Racing	52' 49.676
21	12	三宅 淳詞	ThreeBond Racing	52' 49.800
22	7	小林 可夢偉	Kids com Team KCMG	53' 08.326





Round.7 レース結果

Pos	No	Driver	Team	Time
1	6	太田 格之進	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	1:06' 12.813
2	15	岩佐 歩夢	TEAM MUGEN	1:06' 19.940
3	1	坪井 翔	VANTELIN TEAM TOM'S	1:06' 20.760
4	7	小林 可夢偉	Kids com Team KCMG	1:06' 20.971
5	37	サッシャ・フェネストラズ	VANTELIN TEAM TOM'S	1:06' 23.096
6	64	佐藤 蓮	PONOS NAKAJIMA RACING	1:06' 27.258
7	39	大湯 都史樹	SANKI VERTEX PARTNERS CERUMO・INGING	1:06' 31.715
8	3	山下 健太	KONDO RACING	1:06' 32.526
9	5	牧野 任祐	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	1:06' 33.246
10	14	大嶋 和也	docomo business ROOKIE	1:06' 33.994
11	38	阪口 晴南	SANKI VERTEX PARTNERS CERUMO・INGING	1:06' 34.537
12	16	野尻 智紀	TEAM MUGEN	1:06' 35.490
13	19	オリバー・ラスムッセン	ITOCHU ENEX WECARS TEAM IMPUL	1:06' 37.100
14	20	高星 明誠	ITOCHU ENEX WECARS TEAM IMPUL	1:06' 37.515
15	28	小高 一斗	KDDI TGMGP TGR-DC	1:06' 39.444
16	4	ザック・オサリバン	KONDO RACING	1:06' 41.236
17	50	小出 峻	San-Ei Gen with B-Max	1:06' 46.106
18	65	イゴール・オオムラ・フラガ	PONOS NAKAJIMA RACING	1Lap 遅れ
DNF	12	三宅 淳詞	ThreeBond Racing	8Laps 遅れ
DNF	10	ジュジュ	HAZAMA ANDO Triple Tree Racing	10Laps 遅れ
DNF	29	野中 誠太	KDDI TGMGP TGR-DC	25Laps 遅れ
DNF	8	福住 仁嶺	Kids com Team KCMG	30Laps 遅れ





Drivers & Team Ranking

順位	ドライバー	合計	Rd.1	Rd.2	Rd.3	Rd.4	Rd.5	Rd.6	Rd.7	Rd.8	Rd.9	Rd.10	Rd.11	Rd.12
			鈴鹿	鈴鹿	もてぎ	もてぎ	AP	富士	富士	SUGO	富士	富士	鈴鹿	鈴鹿
1	坪井 翔	87	8	15	8	0	20	2+20	3+11					
2	太田 格之進	84	1+20	1+0	2+15	2+20	0	1	2+20					
3	牧野 任祐	73	1	20	3+20	1+15	5	6	2					
4	岩佐 歩夢	67	2+15	2+11	0	11	0	11	15					
5	野尻 智紀	57	3+4	3+8	2	1	3+15	3+15	0					
6	佐藤 蓮	30	11	5	0	0	8	0	1+5					
7	阪口 晴南	26	5	0	5	6	6	4	0					
8	イゴール・オオムラ・フラガ	25	0	6	1+11	2	3	2	0					
9	山下 健太	25	2	0	4	3+0	2+11	0	3					
10	小林 可夢偉	21	6	2	-	-	1+4	0	8					
⋮														
-	三宅 淳詞	0	0	0	0	0	0	0	0					

順位	チーム	合計	Rd.1	Rd.2	Rd.3	Rd.4	Rd.5	Rd.6	Rd.7	Rd.8	Rd.9	Rd.10	Rd.11	Rd.12
			鈴鹿	鈴鹿	もてぎ	もてぎ	AP	富士	富士	SUGO	富士	富士	鈴鹿	鈴鹿
1	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	145	1+20	20+0	20+15	15+20	5+0	6+1	2+20					
2	TEAM MUGEN	108	15+4	11+8	0+2	11+1	0+15	11+15	15+0					
3	VANTELIN TEAM TOM'S	99	8+0	15+0	8+3	0+8	20+0	20+0	11+6					
4	PONOS NAKAJIMA RACING	53	11+0	5+6	0+11	0+2	8+3	0+2	5+0					
5	SANKI VERTEX PARTNERS CERUMO・INGING	42	5+0	0+4	5+0	6+4	6+1	4+3	0+4					
6	Kids com Team KCMG	39	6+0	2+0	0+6	3+0	4+2	0+8	8+0					
7	KONDO RACING	23	2+3	0+0	4+0	0+0	11+0	0+0	3+0					
8	docomo business ROOKIE	13	0	1	1	5	0	5	1					
9	San-Ei Gen with B-Max	3	0	3	0	0	0	0	0					
-	HAZAMA ANDO Triple Tree Racing	0	0	0	0	0	0	0	0					
-	ThreeBond Racing	0	0	0	0	0	0	0	0					
-	ITOCHU ENEX WECARS TEAM IMPUL	0	0+0	0+0	0+0	0+0	0+0	0+0	0+0					
-	KDDI TGMGP TGR-DC	0	0+0	0+0	0+0	0+0	0+0	0+0	0+0					

